SHIGERU SAKAI ACTIVITIES

〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606 発行責任者:酒井 茂

ロスケジュール

期は2028年度とされている

■酒井:「伊那新校」の開校時

決定。 等の名称は、 設計の設計関連業務に概ね3年 年度の令和9年度に決定。学科 A教育長:募集定員は、 基本計画、 工事関連業務に概ね3年程 今後のスケジュールは? 施設整備の期間について 開校前年度までに 基本設計、 開校前 実施

流出している 外に高校生が は地域では地域 学級数は8学 状況の中で、

断基準として、

敷地の広さ 地域との

や駅からの距離、

伊那北高校の校地とすると 交流の利便性などを検討し、 **②募集学級数**

4校

②酒井:

校地選定に係る検討は

者数などを考慮する。募集学級の上伊那地域の中学校卒業予定の上の上での上げの中学校卒業予定の上げのである。 べきと考えるが? 数については、 合的に判断し、募集定員に合わ 数は入学希望者の動向などを総 納得できるよう、慎重に検討す せて慎重に検討していく。 ことが憂慮される。新校の学級 合わせた12学級から4学級減ら 地域や高校生が 流出が更に進む



△教育長:普通科の他に、高度 針か?一のような生徒の育成を目指す方 うな高校を目指すのか、またど ■酒井:「伊那新校」はどのよ

方針は、自己実現と社会貢献をする高校を目指す。生徒の育成 を持つ生徒の育成を目指す。 や創造的な活動を通して主体性し人間性を育み、自主的な活動 働を通して多様な価値観を共有 目指す生徒の育成、他者との協 性を切り開き、夢の実現に挑戦 働した学びにより、自らの可能 新校の学校像は、 現する特色学科を設置する予定。 な探究により卓越した学びを実 地元企業、自治体などと協 大学や研究機



私は、 考える。 ンプルな名称が望ましい の名称を使うとともに、 か想像できるように、 どこに所在しているの 地 域 シ

計画懇話会」で具体的な検討を A教育長:校名は、 ことを提案するが? て検討組織を設置して検討する 最終的に県教育委員会に 「再編実施

みなさまのご提言やご要望をお寄せください。

公式サイト https://shigeru-sakai.com/

検索

E-mail: info@shigeru-sakai.com

茂ブログ随時更新中!

△教育次長:「再編実施計画懇 どのようなものであったのか?

話会」では、校地選定の判



伊那新校の校地となる伊那北高校

更には仕事を通じて自己実現で 考えるが、県としてどう対応し きることを、 産・子育てが両立可能なこと、 就職できるように、仕事と出 ■酒井:女性が安心して県内に ていくのか? 情報発信すべきと

携帯サイトへ 簡単アクセス

▶酒井:校名は、県教委におい

多様な働き方を実践する企業を A産業労働部長:県でワークラ ト「ながのけん社員応援企業の イフバランスの向上を目指して 心援するため、

専用ウェブサイ

酒井茂

長野県議会議員

酒 井 茂 事 務 所

伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606

甲力の向上に繋げるための発信企業自身が発信力を強化し、採を発信している。新年度からは

を発信している。

① ⑤
酒校
并

現在の伊那北高校の校

するほか、

新たに採用戦略コン

力強化セミナーや相談会を開催 用力の向上に繋げるための発

の支援に取り 置して伴走型 サルタントを配

が?

全面的に新設すべきと考える 舎等は老朽化していることから

校舎等の状況を考慮するととも

A教育長:施設については、各

に、必要となる機能やその配置

加価値の製品を生産する企業が 無積。近年では医療機器や次世 集積。近年では医療機器や次世 地域への経済波及効果の高い企 地域への経済波及効果の高い企 が関係では医療機器や次世 を見内企業と連携している。 **△知事**:本県の製造業は、高付 進めることを提案するが? が進んでいるが、この強みを生 『県は製造業の集積

学びを実現するために最適な整 意見を取り入れながら、生徒の を含めて、外部アドバイザーの

備計画を検討していく。

■酒井:これからの時代の要請 極的に誘致していく。 しているのか?

に重要。 影響や効果という観点でも非常 えるが、どのような業種を想定 IT、DX分野で貢献してもら 技術を保有している企業は重要。食品等など今後の発展に繋がる A知事:医療機器、 えるような企業は、 に応える業種を誘致すべきと考 他産業への 航空·宇宙

あるが、 案が提出されているので、同校「構造改革特別区域法」の改正 工科短大等から特区内の4年制信を強化していく。今国会には、Sでの継続的なPRなど情報発 大学への編入学を可能とする る取り組みを進めている。SN同校の魅力やブランド力を高め 増やすための座談会の開催など、 プンキャンパス、 れていないので、

科 短

者数が定員割れしている状況に10万井:南信工科短大では入学 A産業労働部長:見学会やオー 情報発信すべきと考えるが? さが高校や保護者などに理解さ 教育内容等のすばらし 今後積極的に

理工系女子を

からも編入学が可能となるよう、 、内大学と連携する。